

第 1 3 0 号

千葉盲通信

H31. 2. 15

千葉県立千葉盲学校

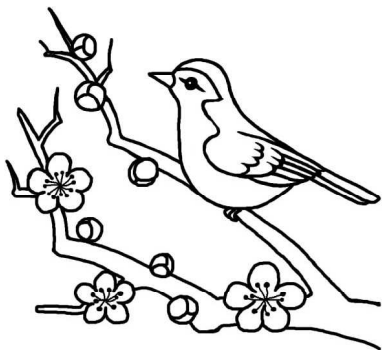
住 所：四街道市大日468-1

電 話：043-422-0231

<https://cms1.chiba-c.ed.jp/chiba-sb/>

校 長：大野 一美

幼児児童生徒数：71名



『地域とともに歩む千葉盲学校』 ～県内1000か所ミニ集会を終えて～

教頭 福地 康司

2月に入り関東平野部にも雪が降り、翌朝は路面が凍結し、転倒しないよう一歩一歩慎重に歩かれている人を多く見かけました。ここ最近の千葉県の天候

は、寒い日は続くものの寒暖の差がみられる日もありました。天気予報では「今日は、この冬一番の寒さ」と厳しい寒さがさらに続くものかと思えば、翌日には「今日は朝から3月なみのぽかぽか陽気」という日もありました。もしや早い春（例年にない暖かい冬）が訪れるのかと小さな期待を抱くのも束の間、その日の夕方には日中の暖かさがうそのような寒さにみまわれるということもありました。

そのような中、1月19日（土）に「平成30年度県内1000か所ミニ集会」を開催いたしました。誰でも思いや意見を伝えることができ、本校に対する様々な方のお考えをいただける場を設けたいと考え、昨年度に続き、パネルディスカッション形式による意見交換会を実施いたしました。テーマは、『地域とともに歩む千葉盲学校』です。学校教育の骨格である学習指導要領の大きな柱にもなっている「社会に開かれた教育課程の実現」に向けて、本校の教育活動について考える機会としました。このテーマを設定するにあたり、盲学校として地域の方と一緒に取り組めることは何か、地域にお役に立てることは何か等、多くの方に意見をちょうだいし、今後の教育活動に生かして行きたいと考えました。パネリストとして、地区自治会、本校卒業生、介護保健施設代表、本校保護者の代表の方をお願いをしました。会の進行やまとめ役のコーディネーターは、四街道市立大日小学校の校長先生がお引き受けくださいました。パネリストからは「地域行事への積極的な参加」「地域のお祭りなどでブースをつくりマッサージを提供する」「介護施設で職員とともに介助等を行う」「障害者スポーツでの交流」「地域の学校との作品交流」等があげられました。また、外部参加者からもスポーツ交流やマッサージなど、実効性のある取り組みとアドバイスをお話していただきました。それぞれの立場や経験などから、御意見をいただき、短い時間でしたが、とても内容の濃い実りのある時間になりました。

今回のミニ集会実施にあたり、御協力くださったコーディネーター及びパネリストの皆様、御参加くださったたくさんの皆様に感謝申し上げます。これからも、本校は県内唯一の視覚障害教育に特化した教育を提供する場として、たくさんの皆様の期待に応えることができるように、日々教育の充実に努めていきたいと思っております。

3月の主な行事予定

- 5日（火）幼稚部 送る会 小学部 6年生を送る会
- 6日（水）理療科 ハローワーク情報検索体験
- 8日（金）中学部 3年生を送る会
- 11日（月）寄宿舍 送別会
- 15日（金）卒業証書・修了証書授与式
- 18日（月）小学部 校外学習（いちご狩り）
- 22日（金）修了式



○小学部「私の発表会」

1月19日(土)、授業参観日に「私の発表会」が行われました。「一人一人が、自分の言葉で表現することの喜びを感じてほしい」という思いで、30年程前から続いている小学部の行事です。児童は、学習したことや経験したこと、感じていることを発表します。

1年生は、「きぼーる」への校外学習について、「車のハンドルを回すのが楽しかった。」「お弁当がおいしかった。」と思い出を振り返りながら、楽しそうに発表しました。

3年生は、一人一人が4月から頑張ってきたことを発表し、最後に4人で一緒に声を合わせて「ころころ橋」という詩を朗読しました。

4年生は、転校してきてからの5ヶ月間を振り返り、感じたことを発表しました。

6年生は、児童会活動を題材に、自分の成長を振り返りました。推敲を重ねた原稿を、声に抑揚をつけ、間の取り方などを工夫して発表しました。

お互いの発表についての児童からの感想も心温まるもので、素晴らしい「私の発表会」になりました。

(小学部 吉田 美穂)



○幼稚部「豆まき会」

2月1日に今年も幼稚部に、大きな鬼さんがやって来ました。廊下から大太鼓を叩きながら、迫力満点の赤鬼さんと青鬼さんが現れました。「泣き虫はいないか、怒りん坊はいないか」と大きな声できかれると、子どもたちはその姿と声の大きさにびっくり！泣き出してしまう子もいましたが、「おはようの会」や「帰りの会」に豆まきの練習をしていた子どもたちは、鬼めがけて一人で、または教師と一緒に「鬼は外、福は内」と言いながら豆をまきました。すると、怖かった鬼さんが優しい鬼さんになりました。「スプーンでごはんを食べることを頑張ります」「お着替えを一人でできるように頑張ります」など、よい子で頑張ることを鬼さんと約束しました。最後は鬼さんと仲良くなり、一緒に「豆まき」や「鬼のパンツ」の歌を歌ったり、写真を撮ったりしました。今年1年みんなが元気で過ごせることを祈っています。

(幼稚部 土屋 恵)



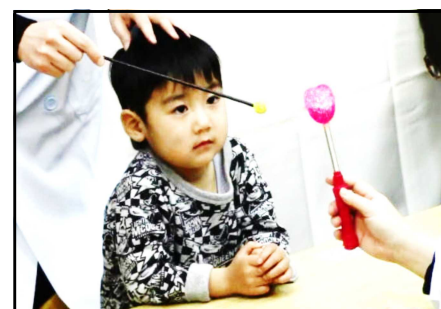
○「ロービジョンサポート」

ロービジョンサポートは、視機能や視覚補助具のチェック、より良い見え方や環境の整え方について医療従事者からの指導・助言を受け、学習活動や学校生活に生かす取り組みです。

指導・助言者には、かわばた眼科院長・川端秀仁先生をお迎えし、同眼科の視能訓練士・看護師等スタッフの方々にも同行していただき、学校職員が日々の教育活動で生じた疑問や困難に対して指導及び助言を得ています。この取り組みは平成17年度の開始以来、14年目を迎え、今年度は12名の幼児・生徒を対象に3回実施しました。

川端先生の助言は、本校の教育方針、指導目標等を踏まえた上での具体的かつ分かりやすい説明であり、ICT活用等についても新しい指導の方向性を示唆してくださっています。それらの助言を我々の日々の実践に生かすことで、指導のさらなる充実へとつなげていきたいと考えています。

(視覚支援センター 蘭牟田 宏美)



教科書デジタルデータのお知らせ

12月10日に行われたPTA主催の保護者学習会でとりあげた教科書デジタルデータ(iPadで閲覧する教科書)を来年度使用したい小・中・高等部の児童生徒は2月28日(木)までに教頭にお知らせください。